

弥生三月。

我が家の裏庭にメジロが 2 羽。冬の終わりを告げるかのようにやってきて可愛いしぐさで木の実をついばんでいます。野にはフキノトウ、川岸にはネコヤナギと里山に春の息吹が感じられる季節となりました。

嬉しい報告が 2 件ありました。

1 つは東白川小学校が地域の皆さんと協力して続けてこられた「村内の六つの山の登山」が岐阜県ふるさと教育表彰を受けたこと。

2 つ目は、東白川中学校の 3 年生の代表の皆さんが「岐阜県英語ふるさとプロモーションコンテスト」において 2 年連続で最優秀賞を受賞したこと。

<https://www.vill.higashishirakawa.gifu.jp/news/detail/160>

小さな村の小さな学校の大きな快挙であります。

頑張った皆さんに心からのお祝いと努力に対する感謝を申し上げます。

3 月は、旅立ちの季節でもあり、村内では小学校では 14 名、中学校では 29 名の児童、生徒が卒業式を迎えます。ご卒業を心からお慶び申し上げますとともに新たな門出に村民の皆様を代表して「頑張れ!」とエールを贈りたいと思います。

2 月には村内 6 会場において、集落座談会を開催いたしました。

寒い時の夜間開催にもかかわらず各会場ともたくさんの皆様にご出席をいただきありがとうございます。今回は村にとって大きなプロジェクトとなる「医療福祉ゾーン」の整備について、事業着手からこれまでの専門委員会などでの調査、意見交換、整備予定地の確保について経過報告とこれらの議論の結果をまとめた計画の概要をご説明申し上げます。

これに対する財政面や整備予定地についてのご心配や課題など、真摯なご意見をしっかりと受け止めて少子高齢化社会、人口減少時代に対応し村民の皆様が安心して暮らせる医療・福祉・介護事業の中核となる施設を整備してまいりたいと考えております。

今後、施設の基本構想案がまとまり次第、建設委員会を設置し協議をいただき平成 29 年度の建設に向けて用地整備や実施設計を進めて参ります。

次いで、平成 29 年の予算編成方針を中心に今後の村政運営方針について説明を行いましたところ、それぞれの地域からの要望や今後の産業振興策、道路整備、公共交通のあり方など将来的な課題と身近な問題について多くのご意見を頂きましたので、検討を重ね今後の村政運営と年度別の事業実施の目標とさせていただきます。

3 月は 1 年の中でも年度の締め括りの月であり、新年度に向かって様々な準備を進める月でもあります。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、新年度への希望に胸を膨らますことができる 3 月にしたいと考えています。

平成 29 年 3 月

東白川村長 今井俊郎